

| | | |
|---------|---|-------------|
| 9 | 生活文化局 | ボランティア活動の推進 |
| 事業概要 | <p>○ 事業目的 ボランティア活動が文化として定着し、都民一人ひとりが互いに支え合う共助社会の実現（具体的数値目標は、ボランティア行動者率40%の達成）</p> <p>○ 事業概要 平成28年2月に策定した「共助社会づくりを進めるための東京都指針」に基づき、「多くの人の参加意欲を高める」「活動しやすい環境を整備する」「多様な主体が集積する東京の特性を活用する」という3つの視点から、共助社会実現に向けた取組を実施</p> | |
| これまでの経過 | <p>平成27年6月に、学識経験者、ボランティア団体、経済団体、中間支援組織関係者等を委員とする「共助社会づくりを進めるための検討会」を設置し、指針策定に向けた検討を行った。これを踏まえ、平成28年2月に「共助社会づくりを進めるための東京都指針」を策定し、平成28年度から同指針に基づく事業と共に、都内のボランティア活動の実態を把握するため、都民や企業等の団体を対象に都民等のボランティア活動等に関する実態調査を実施している。</p> <p>平成29年6月に「共助社会づくりを進めるための検討会」を開催</p> | |
| 現在の進行状況 | <p>○ 多くの人の参加意欲を高める取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動の推進に係るPRイベントを実施 (実施時期：平成29年9月～12月、回数：4回) ・ PR動画を作成し、ホームページ、イベントでの上映、SNS、デジタルサイネージの広告掲出等により、広報展開 ・ 「東京都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」の贈呈 (募集：平成29年8月～10月、贈呈式：平成30年1月。大賞7団体・特別賞5団体) <p>○ 活動しやすい環境を整備する取組 東京ボランティア・市民活動センターと連携し、ウェブサイト「ボラ市民ウェブ」の周知を図るとともに、ボランティアコーディネーターの養成講座を実施</p> <p>○ 多様な主体が集積する東京の特性を活用する取組 企業や大学のボランティアセンターに関する事例集を作成</p> <p>○ 都民等のボランティア活動等に関する実態調査 直近1年間にボランティア活動に参加した人は、24.8%（昨年比1.9%増） (調査期間：平成29年10月1日～31日)</p> | |
| 今後の見通し | <p>○ 多くの人の参加意欲を高める取組 引き続きボランティア活動の推進に係るPRイベントや広報を実施するとともに、「東京都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」を企業等に贈呈し、普及啓発に取り組む。また、企業や大学のボランティアセンターに関する事例集を活用し、企業社員や学生のボランティア活動を推進</p> <p>○ 活動しやすい環境を整備する取組 ボランティアコーディネーター養成講座の実施及び「ボラ市民ウェブ」の周知を図る。</p> | |

| | | | |
|--------|--|----|--------------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な主体が集積する東京の特性を活用する取組 ボランティア活動の気運醸成を図るため、東京都ボランティア活動推進協議会の気運醸成分科会を開催 ○ その他の取組 都民等のボランティア活動等の実態に関する調査を実施し、ボランティア行動者率を継続して測定 | | |
| 問い合わせ先 | 生活文化局 都民生活部 地域活動推進課 | 電話 | 03-5388-3156 |